

パナソニックセンター大阪閉館前カウントダウンイベント

パナソニックセンター大阪×お母さん大学「あるまま OYAKO フェス」

1月22日(土)親子で体験できる楽しい企画がいっぱい！



JR 大阪駅に直結する商業施設「グランフロント大阪」にある「パナソニックセンター大阪」が、まもなく閉館する(1・2階は1月末日まで)。2013年、グランフロント大阪開業と同時にオープンした同店。地下1階は住宅設備展示、1・2階は家電などの体験エリアとカフェエリア。そして、若年層のソーシャルアクションスペース「あるまま BASE」と、子育てを応援する「あるまま OYAKO」だ。2018年には来場者数1000万人、2021年には1500万人と大阪の玄関口としてにぎわいをつくってきた同店だが、コロナ禍や社会環境の変化

を理由に閉館することになった。売ることを直接の目的としない、ショールームの概念を超えた場所。特に「あるまま OYAKO」は、直面する社会課題である“孤育”に、オープン以来真正面から取り組み、都心部の母親にとって、心のよりどころになっていた。コロナ禍による休館時には、ガラス越しに「開けて～」と泣き叫ぶ子がいたという話も。1/7には、お母さん大学との共催で行ってきた月例「折々おしゃべり会」も最終回を終えたところ。日に日に多くなる閉館を惜しむ声に応え、閉館直前の1/22は、「お母さん大学」プロデュースでイベントを開催する。



■パナソニックセンター大阪・三浦美賀子さんの話

働く女性たちにも便利な製品を提供し、社会進出を応援してきたパナソニックだからこそ、モノだけでは満たされない心のモヤモヤを晴らすお手伝いがしたいと考えました。普段は子ども優先で自分を見失いがちなお母さんですが、ここに来れば自分を取り戻し、心の充足を得て、笑顔になれる…そんな場を目指し、お母さんに寄り添ってまいりました。フェスの日は、たくさんの親子に足を運んでほしいと願っています。

■パナソニックセンター大阪×お母さん大学のコラボについて

30年余子育て支援事業を行ってきた、株式会社お母さん業界新聞社(本社:横浜市、代表:藤本裕子)。「お母さん大学」の名のもと、新聞+WEB+活動で、“孤育て”をなくし、お母さんの笑顔をつなげています。

お母さん大学大阪支局では、2018年『お母さん業界新聞大阪版』を創刊以来、大阪の親子に寄り添った記事や企画を展開してきましたが、昨年12月号をもって『大阪版』を含むエリア版4紙(横浜版、静岡版、福岡版)は休刊に。今年1月号から新『お母さん業界新聞』としてリニューアル創刊をしました。「折々おしゃべり会」は新聞を折りながらおしゃべりを楽しむ機会。パナソニックセンター大阪でも、孤育てをなくすことを目的に毎月開催し、たくさんの親子が参加しています。

『大阪版』の目玉企画であった表紙の「夢を描くお母さん」コーナーに登場した、359組の親子写真を会場の壁に一大パネルにして紹介。「とびきり笑顔のお母さんと子どもたち(の写真)に、会いに来てください」と、大阪版編集長の宇賀佐智子。すべての写真撮影と、夢インタビューに臨んだ宇賀編集長は、「お母さんの夢・表紙の親子 359組」と題したスライド&トークショーに登場。どんなエピソードが飛び出すでしょうか!?

■あるままOYAKOフェス プログラム

<トークショー>1階「あるまま BASE」

◆12:00~12:25 12:35~13:00/絵本 de おはなし会

MBSの関岡香さんは、絵本愛好家としてもおなじみ。子育て中の絵本エピソードを交えた楽しい読み聞かせの会です。絵本の世界をのぞいてみてください。あるままOYAKOえほん箱の中から、『アルパカパカパカやってきて』『どろんこおそうじ』『アブラカダブラカタクリコ』ほか、関岡さん一押しの絵本を厳選し、紹介します。※予約優先・定員8組(予約で席をご用意)立ち見鑑賞可



◆13:15~13:45「家族で世界一周旅行」スライド&トーク:戸田 愛(とことこあーす)

2019年、家族5人(夫婦・小3女・小1男・1歳女)で世界一周へ。帰国後、オリジナル旅をアレンジする会社「とことこあーす」を設立。旅を通じて感じた、子育てや学びを伝えている戸田さんは、「お母さん業界新聞」でも旅行記を連載。子連れ海外旅行のヒントや、夢を叶える方法を伝授します!



◆13:45~14:15「お母さんの夢・表紙の親子 359組」

スライド&トーク:宇賀佐智子(お母さん業界新聞大阪版編集長)

大阪版の表紙を飾ってくれた親子を一挙ご紹介!



◆14:30～15:30「お母さんの笑顔は究極の SDGs」

三浦美賀子(パナソニックセンター大阪) × 藤本裕子(お母さん大学)

子育ては 365 日、24 時間休みなし。でも、「ママ、ママ」と追いかけてきてくれる時期は一時です。子どもと過ごす何気ない日々が宝物であると感じてほしい。子育てや仕事をがんばっているお母さんにエールを送ります。



<ワークショップ>1 階「あるまま BASE」

◆12:00～17:00／絵本カバーde ポチ袋づくり

お好きな絵本カバーを選び、型紙に合わせ切って、世界でたった一つのオリジナルポチ袋を作しましょう(なくなりしだい終了)。



◆12:00～17:00／あるまま OYAKO 新聞づくり

子育ての“今”を書き残そう。質問に答えていくだけで、簡単マイ新聞の出来上がり。子育てを楽しむヒントがいっぱいの体験ワークショップです。先着 30 名様にはお好きなカラーインクで「マイペン」をつくり、「お気に入りのペン」で書く楽しさを味わっていただきます。(協力:株式会社呉竹)



<みそまる>2 階カフェ

◆みそまるワークショップ(要予約)

①13:15～14:15 ②15:45～16:45

味噌を学び、みそまるをつくらう！

味噌伝道師 MISODO さんによる、楽しい味噌活のすすめ。味噌の種類や効能、選び方や食べ方など、知っているようで知らない味噌の話をお伝えします。ヘルシー&時短味噌汁「みそまる」をつくってお持ち帰り。親子(小学生)2人1組/各回15組



◆みそまるバイキング 12:00～17:00 ※なくなりしだい終了のため、お早目にお越しください。

お1人1杯、好きな味噌汁を選んでお飲みいただけます。5種類のみそまるをご用意。和風、洋風、意外な味噌汁も！



■新型コロナウイルス感染症対策について

新型コロナの急速な感染拡大を受け、第6波突入という状況の中。徹底した感染防止対策をとったうえで、すべてのイベントは開催を予定しています。来場者の皆様にも、咳エチケット、マスク着用、手洗い・手指の消毒の徹底をお願いいたします。

■ワークショップ・トークショーご参加の皆様へお土産のご用意

協力/株式会社小倉屋山本、株式会社ユノス、築野食品工業株式会社

■「OYAKO の笑顔 359」写真パネル展」の開催

パナソニックセンター大阪 1階エスカレーター横、1/22～1/31 閉館時まで

■株式会社お母さん業界新聞社

『月刊お母さん業界新聞』の制作・発行ほかさまざまな子育て支援事業を行っています。一連の活動は全国のお母さんが中心となり「お母さん大学」として展開。子育てのイライラやモヤモヤ、感動や発見の一瞬を切り取った記事が共感を生んでいます。

本社所在地: 〒221-0055 神奈川県横浜市神奈川区大野町 1-8-406/代表者: 藤本裕子

電話: 045-444-4030/代表アドレス: info@30ans.com/公式サイト: <http://www.okaasan.net/>

【本件最新情報】あるまま OYAKO フェス <https://www.okaasan.net/oshirase/77802/>

【イベント事前予約】パナソニックイベントサイト <https://center-osaka-event.jpn.panasonic.com/public/?category=social>

【本件参考記事】お母さん業界新聞特集「パナソニックセンター大阪・あるまま OYAKO でお母さんを笑顔にすること」
<https://www.okaasan.net/wp-content/uploads/2022/01/2021-04-05.pdf>

【本件に関するお問合せ】

株式会社お母さん業界新聞社 お母さん大学大阪支局/宇賀佐智子 osaka.okaasan@gmail.com 090-9094-0696